

★新着ニュース

豊田「西都の雫」生産部会が県内の蔵元と産地交流会を行いました。

下関農林事務所農業部

8月28日（月）、下関市豊田町で豊田「西都の雫」生産部会（部会長 ^{ふくもとのぶすけ} 福本信亮）と山口県酒造協同組合との相互の結びつきを深めることを目的とした産地交流会が開催され、山口県酒造協同組合、県内の蔵元3社、生産部会員、JA下関等の関係者約40名が参加しました。

交流会では始めに、福本部会長の西都の雫ほ場にて、部会長が今年の西都の雫の栽培管理や生育の特徴について説明を行いました。今年は、昨年と同じような暑い夏ですが、出穂は概ね平年並であり、目標の茎数は確保されているとの報告がありました。

その後、会場を室内に移して意見交換が行われ、酒造関係者から「西都の雫はすっきりとした味わいで、年度による品質の大きなぶれが少ない」「吸水が程良く、お酒を作りやすい」等の酒造好適米としての評価が高いこと、また「高齢化が進む中、今後の担い手の確保にも尽力して頂きたい」との生産部会への励ましの意見が出ました。その後、「収穫までもうひと頑張りして、少しでも特等の酒米を蔵元へ届けられるように努めて頂きたい」と稲村副部会長の言葉で締めくくられました。

豊田「西都の雫」生産部会は、実需者の期待に応えられるような高品質の酒米の安定生産に向けて、今後も研修会や農林総合技術センター（農業試験場）への視察を予定しており、下関農林事務所農業部では当部会への活動支援を通じて生産と実需の結びつき強化を図っていくこととしています。

（参考）西都の雫：山口県オリジナル品種の酒造好適米。当生産部会では、平成29年度は集落営農法人7組織と個人農家21名が計59haの作付けに取り組んでいます。



出穂期を迎えた部会長ほ場



意見交流会

《お問い合わせ先》 下関農林事務所農業部

TEL：083-766-1206 FAX：083-766-1184 メール：a17107@pref.yamaguchi.lg.jp